

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

日本製紙株式会社（証券コード:3863）

【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
債券格付	A
発行登録債予備格付	A
劣後ローン格付	BBB+

■格付事由

- 日本製紙グループの事業持株会社。グループ全体で洋紙、板紙、家庭紙、特殊紙など幅広い事業を手掛けており、国内生産シェアは洋紙でトップ、板紙で第3位。成長分野と位置付ける生活関連事業（パッケージ、家庭紙・ヘルスケア、ケミカル、新素材）、エネルギー事業への経営資源配分により、総合バイオマス企業を目指している。豪 Orora 社から買収した板紙パッケージ部門と連結子会社である Australian Paper 社を統合し、20年4月に Opal 社を設立、オセアニア領域におけるパッケージ事業の一貫体制を構築している。
- 新型コロナウイルスの影響を受けているが、事業構造転換に取り組んできたことで収益源の多様化が進み、環境変化に対して一定の収益力を維持している。需要の減少が続く洋紙分野において生産体制の再編成を進める一方で、海外パッケージ事業の買収や家庭紙の能力増強など生活関連事業の基盤強化により、グループ全体の収益力は高まる方向にある。当面、利益水準は底堅く推移すると JCR ではみている。大型 M&A による負担はあるものの、キャッシュフロー創出力の向上を背景に今後は財務改善が進むとみている。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 21/3 期の営業利益は前期比 42.9%減となるが、200 億円を確保する計画である。Orora 社買収に係る一時費用 59 億円のほか、洋紙及び板紙の販売数量の減少などが減益要因となる。22/3 期について、紙・板紙事業では釧路工場の紙・パルプ事業の撤退など生産体制の見直しを進めることにより収益性の改善が進む見込み。生活関連事業では、家庭紙・衛生用品の増販や Opal 社でのシナジー発現の本格化により利益水準の回復が期待される。バイオマス発電などエネルギー事業は引き続き安定収益源として全体利益の下支えとなる。これら各セグメントの状況を考慮すれば、22/3 期の営業利益は増益に転じると予想する。
- 21/3 期第 3 四半期末の自己資本比率は 24.1%（前期末 27.5%）と、Orora 社板紙パッケージ部門の買収の影響もあり悪化している。ただし、20年6月に調達した劣後ローン 600 億円により財務へのマイナス影響は一定程度緩和されている。買収を通じて海外パッケージ事業はさらに強化される見通しで、中期的にみればキャッシュフロー創出力は高まると考えられる。22/3 期以降、財務指標は良化していくと JCR ではみている。

（担当）本西 明久・村松 直樹

■格付対象

発行体：日本製紙株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 12 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2014 年 6 月 19 日	2024 年 6 月 19 日	0.970%	A

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第13回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2015年6月19日	2025年6月19日	0.962%	A
第14回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年7月24日	2027年7月23日	0.490%	A

対象	借入額	実行日	弁済期日	利率	格付
劣後ローン	600億円	2020年6月30日	2055年6月30日	(注)	BBB+

(注) 実行日から25年6月30日までの利息期間においては3ヶ月日本円TIBORに当初スプレッドを加算した利率
25年6月30日以降は3ヶ月日本円TIBORに当初スプレッドおよび1.0%を加算した利率

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	1,000億円	2019年8月2日から2年間	A

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2021年2月12日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：本西 明久
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「紙パルプ」（2020年5月29日）、「ハイブリッド証券の格付について」（2012年9月10日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 日本製紙株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
なお、本件劣後ローンにつき、約定により許容される利息の支払停止が生じた場合、当該支払停止は「債務不履行」に当たらないが、JCRでは債務不履行の場合と同じ「D」記号を付与することとしている。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラス



に登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル